

厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）  
総括研究報告書

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築における  
情報通信機器を用いた精神療法の活用に向けた研究

研究代表者 岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部

研究要旨 本研究ではオンライン診療が地域における医療提供のあり方の一つとして適切に普及していくため、臨床家・自治体等が参考にできるような好事例・導入事例を収集し、適切なオンライン診療を実践できるような手引書を策定した。

研究分担者氏名・所属研究機関名及  
び所属研究機関における職名

富田博秋・東北大学大学院医学研究科教授  
熊崎博一・長崎大学医歯薬学総合研究科教授  
木下翔太郎・慶應義塾大学医学部特任助教

**A. 研究目的**

我が国では、高齢化、離島・僻地医療、復興支援など、多くの医療上の課題があり、地域で暮らす全ての人が、必要な時に適切な医療を受けられるための手段としてオンライン診療の活用が期待されている。

今後求められるのは、オンライン診療が地域における医療提供のあり方の一つとして適切に普及し、地域の医療体制への貢献を果たしていくことである。R6年度の診療報酬改定を経て活用の拡大が予想されるが、多くの精神科医師はオンライン診療の経験がなく、ノウハウが共有されていない。患者によっては自治体の支援が必要になるケースもあるが、自治体間の事例共有も不十分である。令和5年3月発出された「情報通信機器を用いた精神療法に係る指針」に沿った、質の高い診療が実践されるよう適切にガイドしていくことが必要である。本研究ではそのようなニーズに応えるべく、臨床家が好事例を参考にしつつ、適切なオンライン診療を実践できるような手引書を策定する。

**B. 研究方法**

**1. オンライン診療のための医師向け手引書の策定**

本課題では、オンライン診療を初めて実践する医師を想定した手引書を策定する。遵守事項の説明のみならず、オンライン診療の導入方法や、患者への説明、診療で注意すべきこと、質を保つための工夫等にも触れる。

**2. 地域医療の中でオンライン診療を有効に活用した好事例の収集**

初年度に収集した27例の精神科オンライン診療の初診または初診類似例について、ケースシリーズ研究を実施した。また実施にあたり、倫理審査も行なった。

**C. 研究結果**

**1. オンライン診療のための医師向け手引書の策定**

「精神科領域におけるオンライン診療実践の手引書」を作成し、その内容や公表方法について、日本精神神経学会などの関係先に照会を行った。

**2. 地域医療の中でオンライン診療を有効に活用した好事例の収集**

倫理審査を実施したのち、好事例についてケースシリーズ研究として論文化を実施するとともに、審議会などの場で結果を共有した。

**D. 考察**

本研究で得られた好事例・導入支援事例は、多くの臨床家・自治体の参考になるものであると考えられた。

**E. 結論**

収集した好事例をケースシリーズ研究として論文化するとともに、臨床家が参考にできるオンライン診療実践の手引書を作成することができた。今後、これらの成果を発信し、適切なオンライン診療の普及に寄与するよう努める。

**F. 健康危険情報：該当なし**

**G. 研究発表**

1. 論文発表：該当なし
2. 学会発表：岸本泰士郎、精神科領域におけるオンライン診療の手引書策定。第29回日本遠隔医療学会。長崎県。2025/10/25

**H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）**

1. 特許取得：該当なし
2. 実用新案登録：該当なし
3. その他：該当なし